

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(1) 学校教育行政の主要施策

①推進体制の充実 校長会議

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

### ■事業の概要

月例校長会議を充実させることで円滑な学校運営をはかるとともに、村内小中学校が一体となった教育推進を図ることを目的とする。

### ■実施状況

毎月1回定期的に開催し、主に次のような内容で行った。

- ・教育長指示伝達・・・学力向上、生徒指導の充実、生涯学習の充実、教職員のサービス生涯学習の充実と学校教育との関連
- ・主な協議内容

開催月	教育長指示伝達	協 議
4月	学力向上、生徒指導、生涯学習、サービス指導等々	児童生徒の状況
5月	〃	校内研究と学力向上
6月	〃	いじめ未然防止の取組状況
7月	〃	学びフェスト進捗状況
8月	〃	生徒指導、学校不適応対策
9月	〃	ICT活用・授業改善
10月	〃	組織強化に向けた取組
11月	〃	NIEの取組の進捗状況
12月	〃	学びフェストの進捗状況
1月	〃	志と夢を育むキャリア教育
2月	〃	学力向上対策の状況と課題
3月	〃	「学びフェスト」次年度構想

### ■成果と課題

- ・学校教育の根幹に係る様々な指導事項について、不易な部分のもとより、現況に合わせた取組の在り方等について共通理解を図り、各校の教育で大切にしたいことを教育長の考えをもとにして伝えることができた。
- ・各校長がまとめた協議事項についての資料をもとに、取り組み状況等、各校の学校経営について学び合うことができた。
- ・毎月のいじめ認知件数や行事等での児童の状況を話題にすることで、不適応未然防止対策や学校間・校種間の生徒指導にかかわる情報共有が図られ、連携した取組及び状況の改善につながった。
- ・今後も、校長会議を通じて学校からの願いや要望を吸い上げ、情報共有及び共通理解を図りながら、一体となって九戸村の学校教育の充実に努めていきたい。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(1) 学校教育行政の主要施策

② 推進体制の充実 教員研修の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

村内児童生徒の実態を的確に把握し、一人一人に確かな学力を身に付けるために、教員の指導力向上を図る。

■実施状況

	実施期日	研修会等名	主な内容
1	7 / 1 2 / 3	授業力向上研修会	ICT の効果的な活用に向けての理解、1 人 1 台端末を活用した授業の提案
2	6 / 1 6	特別支援教育研修会	特別支援教育、継続的な教育支援に関する基本的な考え方等について
3	7 / 2 7 【中止】	村教研研修会	小中高地域一貫教育について
4	1 / 2 6	幼・保・小接続研修会	幼児教育と小学校教育の円滑な接続のための授業参観・協議及び接続期カリキュラムの理解について
5	4/23,5/28,6/29, 7/28,9/27,11/29, 12/20,1/11,2/25	教務・研究主任会議	教務部会、研究部会に分かれて、内容等を選択し、村内で足並みをそろえた教育を展開するための協議

■成果と課題

- ・ 九戸村授業改善プランに沿った各校の授業実践の積み重ねをもとにして、村内の全教職員が ICT 活用を含めた授業改善の在り方を協議することは効果的である。
- ・ 村の子どもたちの実態を踏まえ、学校を統合し、小中高で一貫して育成を目指す資質・能力を具体化することの必要性について引き続き検討しながら、教職員の更なる指導力向上を図るための研修内容及び現状の極小規模の学級でもどのようにかわりを大切にした教育を展開していくかの研修内容について吟味していく。
- ・ 特別な支援を要する児童生徒の個別の支援計画の在り方及びその引継ぎの在り方並びに幼児教育と小学校教育の円滑な接続を考えることにより、長期的な教育計画の必要性についての共通理解を進め、連携して指導に当たる体制を検討する必要がある。
- ・ 教務・研究主任会議においては、各主任の先生方のニーズを踏まえた内容や実施時期について検討していく必要がある。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(1) 学校教育行政の主要施策

③学校教育の充実 学習指導の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

全国学力・学習調査等の結果を生かし、授業改善により、基礎・基本の確かな定着とともに、家庭地域と連携し、児童生徒が授業と家庭学習に意欲的に取り組む態度を育成する。

■実施状況

1 学力向上対策に関する会議等の実施

	期 日	会議名等	主 な 内 容
1	4 / 1 3	学力向上推進協議会①	R 3 年度計画・目標及び方針の共有
2	4 / 2 8	学力向上推進委員会①	R 3 年度重点指導事項の共有
3	7 / 1	授業力向上研修会①	ロイロノート・スクールを活用した授業づくり
4	8 / 2 5	学力向上推進委員会②	「R 2 県学調活用調査」の結果分析と重点事項に係る協議
5	2 / 3	授業力向上研修会②	ロイロノート・スクールを活用した授業の実際（授業研究会）
6	2 / 1 5	学力向上推進委員会③	成果と課題の共有・R 4 年度重点指導事項の協議
7	2 / 2 4	学力向上推進協議会②	成果と課題の確認・R 4 年度の取組の決定

2 小中高連携学力向上推進事業

(1) 研究指定趣旨

全国学力・学習状況調査、県学習定着度状況調査や基礎学力確認調査等において明らかになった課題について、村教委及び伊保内高等学校の連携・協力の下、学習内容の確実な習得や知識・技能を活用する授業の展開に向けた工夫改善、学習意欲の伸長、学習習慣の定着等に関する実践を推進し、確かな学力の育成を図るための小中高連携を支援する。

(2) 研究推進

学力向上推進協議会設置 (教育委員会規則設置要綱策定)

構成員 県教委指導主事 九戸村教育推進協議会長 九戸村 P T A 連合会会長  
伊保内高等学校長 村内小中学校長

事務局 九戸村教育委員会

### (3) 研究内容

・学力向上推進委員会を軸に、九戸村授業改善プランを中心とした学力向上の在り方

- ポイント1 問題（課題）解決の意識を大切に
- ポイント2 主体的に思考・判断する学習過程に
- ポイント3 対話的に考えを広げ、深める学習過程に
- ポイント4 自己の学びの変容に気付く振り返り

### (4) 小中高共通取組

①授業改善 ② 諸調査を生かした組織的取組 ③ 学力を支える習慣及び環境の充実

#### ■成果と課題

- ・九戸村授業改善プランの4つのポイントを意識した授業について、小中全ての学校で共通理解をして取り組むことで、授業の質的向上を図る意識が高まっているが、型にはまった授業から脱却し、思考力・判断力・表現力を高める授業をする必要性及び複式指導の充実について、引き続き研修に努める必要がある。
- ・視写・聴写の取組をはじめ、NIEも継続して取り組むことができ、目的に応じて表現する力が少しずつ高まってきている。今後も、学力向上推進委員会等を通して、「資料を活用して自分の考えを表出する力」を育成するNIE活動の充実を図る。
- ・学力向上推進協議会が中心となり、学力向上の必要性や家庭での過ごし方等について、更に理解を図るよう啓発活動を進めていきたい。
- ・授業力向上研修会では、1人1台端末の導入を踏まえ、ロイロノートの活用法について、理論研修と授業研究会を行うことで、実感を伴った学びにすることができた。



## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(1) 学校教育行政の主要施策

④ 学校教育の充実 生徒の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

### ■事業の概要

いじめや学校不適應等への未然防止やその対策のために、今までの組織を生かした「いじめ問題への対応のための組織」づくりを進め、児童生徒一人ひとりが楽しく、生き生きとした学校生活をおくることができるようにする。

### ■実施状況

(1) いじめ未然防止及び早期発見・解決

① 「九戸村いじめ防止等のための基本的な方針」

#### いじめの定義

いじめとは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

#### いじめ防止等のための対策(九戸村)

- ・ 道徳教育及び体験活動の充実
- ・ 児童生徒の主体的な活動の推進
- ・ 情報モラル教育の推進
- ・ いじめの早期発見の実態調査
- ・ 特別支援教育の推進
- ・ 教員研修の充実
- ・ いじめ問題対策連絡協議会の設置  (平成27年12月)

#### 構成員

- ・ 二戸警察署九戸駐在所長
- ・ 盛岡地方法務局二戸支局総務係長
- ・ 県北教育事務所(主任)指導主事
- ・ 九戸村保健福祉課長
- ・ 九戸村民生児童委員協議会長
- ・ 村内小中高等学校長
- ・ 九戸村PTA連合会長

#### 重大事態への対処

- ・ 重大事態の報告 学校 ➡ 九戸村教育委員会 ➡ 村長
- ・ 事実関係を明確にする調査(学校主体か教委主体かは、十分検討し決定) ➡  
いじめ行為、学校、教職員の対応、可能な限り網羅的に調査、客観的な事実を速やかに
- ・ 対応  児童生徒や保護者の心のケアなど、必要な措置を講ずる

(2) 九戸村いじめ問題対策連絡協議会（年1回の定例実施、重大事態等発生時の緊急招集）

	期 日	主 な 内 容
1	5 / 2 6	R 3 年度計画・組織の確認・各校の「学校いじめ防止基本方針」及び取組等についての情報交換
2	/	※ 臨時の開催なし

(3) 学校不適応対策について

- ・学校生活への適応が困難な生徒の相談・支援を行うため、中学校に県教委からスクールカウンセラーを1名配置している。県北教育事務所を通して、スクールソーシャルワーカーも各校との相談体制を構築できるような態勢を整え、組織的に対応した。また、児童福祉連絡会議等を通じて地域福祉班との連携を図りながら、様々なケースに対応することができた。

■成果と課題

- ・重大事案等の発生を未然に防ぐため、各校について積極的な認知を推奨するとともに、個別のアンケート対応等を継続することができた。
- ・「九戸村いじめ防止等のための基本的な方針」に沿って、今後も関係機関との連携を密にしながら、いじめの未然防止、早期発見・解決を目指す。
- ・各校とともに、「学校いじめ防止基本方針」の改訂を図るとともに、ダイジェスト版を作成するなど、より実質的なものにしようとする取組が見られた。
- ・情報モラル教育に関する情報提供を積極的に行い、いじめに対する認識を改めつつ、未然防止に努めていく必要がある。
- ・学校不適応生徒の長期化しているケースについて、学校や関係機関と連携し、ケース会議等も必要に応じて開催していく。医療とのつながりも視野に入れ、どのように対応していくか引き続き協議していく。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

- 【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策  
⑤ 学校教育の充実 連携教育の充実

### 【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

#### ■事業の概要

ナインズ合同学習による協働学習を通じて、小規模校同士の連携及び学校間の交流を深め、かかわりを通してコミュニケーション能力を高める。また、幼小、小中学校間の円滑な接続を図るために、授業公開と情報交換を行う。

#### ■実施状況

##### 1 ナインズ合同学習

- ・ 2年生 生活科（5月7日の1回）
- ・ 3年生 体育（SSTを含む：9月7日の1回）
- ・ 4年生 音楽（9月7日、9月10日の2回）
- ・ 5年生 体育（6月8日、6月9日の2回）
- ・ 6年生 体育（7月13日、7月14日の2回）

村内小学校3～6年生を対象に、合同授業を実施した。小規模校では指導の充実が難しい教科や単元を取り上げ実施した。

##### 2 幼・保・小関連研修会 R4. 1. 26実施

江刺家小とひめぼたのこども園の交流を意図した生活科の授業を通して、小学校教育と幼稚園・保育園との接続について協議をした。情報交換等を行う中で、小学校側のスタートカリキュラム、幼稚園・保育園側のアプローチカリキュラムについて共通理解を図った。

#### ■成果と課題

- ・ ナインズ合同学習では、各校が抱える現状や児童の実態をもとに打合せ会（4/21）を行い、よりよい学習内容及び活動を吟味しながら、各校で役割を分担し、準備することができた。
- ・ 小規模・複式学級における集団での活動や学び合いの設定の難しさを補う活動を中心に設定した。子どもたちの学習意欲を喚起すると共にコミュニケーションを図ることの大切さについて理解できるようにすることで、中学校進学後の人間関係づくりの面でも大きな意義が感じられた。今後も、個々の対人スキルの向上を目指してSSTの要素を取り入れながら、対話的な学びにも活用できるようにつながりを大切にしていく。
- ・ 幼・保・小接続にかかる研修は、村内の子どもたちの様子を知る機会であると同時に、それぞれのスムーズな連携を図る場となっている。小学校に園児を招く形を取り入れることで、かかわりを大切にした交流を充実させることができた。就学児の引継ぎのタイミングと時間確保が課題である。
- ・ 特別な配慮を要する子どもへの支援の在り方について、幼・保・小、及び小・中のスムーズな接続を視野に入れた研修の在り方を考慮していくとともに、教育と福祉の連携、特に住民生活課・園・学校・教委の情報共有のみならず、支援方法の具体について検討できる体制を整えていく必要がある。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策  
⑥ 学校教育の充実 キャリア教育の充実

### 【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

#### ■事業の概要

キャリア教育推進協議会の全面的な支援の下、職場体験学習を実施する。  
また、小中連携の視点を大切に各学校のキャリア教育全体に基づき、子どもたちの将来、社会の中で主体的に生き抜く力を育む。

#### ■実施状況

- ・ R3年度版キャリア教育体験学習受け入れ先事業リスト作成 (35箇所)
- ・ キャリア教育アドバイザーの選定 (22人)
- ・ 3日間、九戸中学校2年生 (38名) による職場体験学習を実施。  
(7/6 ~ 7/8)
- ・ 受け入れ事業者は、22箇所
- ・ 児童生徒が将来の社会人、職業人として生きていくために必要な能力を意識した各校でのキャリア教育の推進とキャリアパスポートの活用

#### ■成果と課題

- ・ 新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、会社の方針等で受け入れをできない業者もあったが、各事業所の協力により職場体験学習を実施することができ、生徒は職業人・社会人として必要なコミュニケーション能力の必要性を感じていた。
- ・ 小中の発達段階に応じたキャリア教育をより一層充実させるために、今後も、日常の授業や学校生活における総合生活力の育成を意識した指導を計画的、継続的に実施していく必要がある。
- ・ 令和4年度より「九戸村キャリア教育推進協議会」は廃止する方向だが、九戸中学校の職場体験学習は継続していく。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策

⑦ 学校教育の充実 時代に対応する教育の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

### ■事業の概要

外国語指導助手及び外国語活動補助員の活用により、中学校英語教育充実を図るとともに、小学校外国語教育や国際理解教育の振興を図る。

### ■実施状況

- ・九戸中学校に、外国語指導助手を通年派遣し、英語教科指導の充実を図る。また、各種の教育活動にも積極的に参加し、国際理解教育の推進を図る。村内小学校にも必要に応じて派遣し、中学校同様、国際理解教育を推進した。(中学校派遣日数129日、小学校81日…伊保内38日、長興寺11日、戸田11日、山根10日、江刺家11日)
- ・村内小学校に配置された英語専科教員の指導に加えて、外国語活動補助員を各小学校に派遣し、英語に親しむ活動や国際理解教育を推進する補助員として活動した。(派遣日数長興寺52日、戸田52日、山根48日、江刺家52日)

### ■成果と課題

- ・九戸村立小・中学校共に、教員と指導助手・補助員とのTT指導による授業改善で、児童生徒のコミュニケーションを図ろうとする意欲とともに、リスニング能力及び即興的なやり取りに対応する力が伸びてきている。読むことや書くことを含めた総合的な英語力を高めていくための授業改善について検討を続ける必要がある。
- ・専科教員等と担任が、外国語活動のねらいや進捗状況等をしっかりと共有し、子どもたちに確かな力を身に付けるという姿勢を維持していく必要がある。授業構想などに係る打ち合わせの時間や場の設定が課題である。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策  
⑧ 特別支援教育の充実 就学支援の充実

### 【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

#### ■事業の概要

教育支援委員会を開催し、教育上特別な配慮や支援を要する児童生徒に対して、的確で効果的な教育を推進する。

#### ■実施状況

- ・教育支援委員会を年4回実施した。  
第1回目 6月16日 昨年度の業務報告、今年度の計画、判定状況の確認  
第2回目 8月31日 対象児童生徒状況確認、検査の実施検討(専門委員会①)  
第3回目 10月26日 対象児童生徒状況確認、検査の実施検討(専門委員会②)  
第4回目 11月17日 最終判定
- ・専門委員会を2回実施することで、支援の必要な児童生徒の実態と支援の在り方について協議することができ、各校での支援の改善や丁寧な教育相談につながった。
- ・児童生徒の実態に応じた望ましい就学や教育環境の在り方を検討し、共通理解のもと教育支援を進めることができた。
- ・通常学級在籍で要観察(要支援)児童生徒のために、特別支援員7名を配置し、個に対応した支援の充実を図った。

#### ■成果と課題

- ・学校と家庭で困り感を共有しながらともに歩む姿勢を大切にするためにも、教育と福祉の連携を視野に入れ、他機関等と情報共有を図ることができた。
- ・環境を整え、より個に応じた細やかな支援を実施することができた。
- ・保護者の同意を得ることを前提に、児童生徒の障がいに応じた適切な教育環境を整えることができるよう、幼・保・小・中での情報交換をもとに、「くのへむらさぽーとふぁいる」の運用と併せて長期的な見通しをもって今後も支援していくため、その趣旨等を丁寧に説明することができた。
- ・通常学級での要観察児童生徒に対しての支援は、家庭との十分な連携、理解により進めていく。
- ・特別な配慮を要する児童生徒への支援の在り方について、指導者の研修を更に進めていくとともに、学校不適應のケースに特別支援教育の視点からもアプローチしながら、個別の支援計画について学校と共有するようになる。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

**【事務及び事業等の名称】** (1) 学校教育行政の主要施策  
 ⑨ 学校保健・安全教育の充実 学校給食の充実

**【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】**

**■事業の概要**

安全で栄養豊かな給食を提供するために、学校給食をセンターの適正な管理に努め、児童生徒の正しい食事習慣の確立と発達段階に応じた栄養の摂取についての指導の充実を図る。

**■実施状況**

- 1 学校給食施設の管理運営  
 一般財団法人九戸教育施設運営会に委託し、管理運営にあたった。
- 2 学校給食の実施

区 分	給食日数	延食数	児童生徒単価	教職員単価	実施対象人数
小学校	188 日	51,484 食	0 円	257 円	児童・教職員 279 人
中学校	188 日	26,849 食	0 円	316 円	生徒・教職員 146 人
伊保内高等 学校	153 日	11,840 食	0 円	240 円	生徒・教職員 78 人
給食センター	200 日	2,450 食		316 円	給食センター職員 10 人
計	給食日数 200 日	92,623 食			米飯給食 週 4 回 パン給食 週 1 回

- 3 地産地消推進の取り組み  
 九戸村農業者学校給食応援隊や(株)ふるさと振興公社の協力により、当村産米及び野菜を学校給食に取り入れた。
- 4 放射性濃度測定の実施
  - (1) 調理前の野菜 4 2 回 (週 1 回測定)
  - (2) 産業振興課より依頼 無
- 5 機器・施設等の更新  
 丸型ガスフライヤー更新  
 米飯計測用デジタル秤更新

**■成果と課題**

- ・施設の衛生管理に十分に配慮し、安全点検や感染予防策に努めるとともに、食材サンプル放射能測定を実施し、安全・安心な給食を提供した。
- ・給食センターの備品・施設等の計画的な整備、更新をしていきたい。
- ・食物アレルギーの対応を要する児童・生徒がおり、施設の改善も含め、対応を検討していきたい。
- ・子育て支援の観点から、経済的負担軽減を図るため給食費無償化を実施した。
- ・各学校訪問により児童へ年 2 3 回の食生活に関する指導を行った。



## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策  
 ⑩ 学校保健・安全教育の充実 健康教育の充実

### 【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

#### ■事業の概要

各種検診や健康相談等による健康教育を充実させることで、児童生徒の心身の健康保持及び健康増進を図る。

#### ■実施状況

##### 1 児童生徒の健診状況

検診区分	対 象	幼稚園 (人)	小学校 (人)	中学校 (人)	計 (人)
定期健診(内科、耳鼻科、眼科)	児童、生徒、 幼児	2 (内科のみ)	669	384	1,055
歯科検診	児童、生徒、 幼児	2	223	128	353
心臓検診	小1年・4年、 中1年		79	46	125
貧血検査	小5年、6年、 中2・3年		70	123	193
尿検査	児童、 生徒		223	128	351
脊柱側弯検査	小5年、6年、 中1年		73	50	123
生活習慣病検診	中1			45	45
就学時健診	就学時児童		34		34

#### ■成果と課題

- ・三医師会、九戸村学校保健会との連携により、定期的な健康診断と各学校とも充実した内容による健康教育が推進されている。今後も、家庭と密接な協力を図り、生活習慣病の予防に力を入れていきたい。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

### 【事務及び事業等の名称】(1) 学校教育行政の主要施策

#### ① 高校教育の支援 高校教育の振興

### 【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

#### ■事業の概要

伊保内高等学校の教育振興のため魅力ある学校経営を支援するとともに、身近な地域の地元高校で学べる環境整備作りを支援する。また、学費補助や研修補助、通学費補助や村の体育施設の無償開放を継続する。

#### ■実施状況

##### (1) 制服購入助成事業

新生生の制服購入費を全額助成 ◆助成対象者 26 人（4 年度入学生）  
[振興会費 2,274 千円]

##### (2) 地域貢献事業

###### ① ビジネスマインド醸成に向けた伊高むらおこし会社活動

生徒全員を 8 グループ分けし、8 種類の新商品開発と販売を行った。

◆商品総売上額 233 千円 [振興会費 122 千円] ※講師謝金旅費

###### ② 高校生による九戸村 P R 活動

ア 九戸宣隊☆魅せるんジャー任命及びコスチューム購入 [振興会費 30 千円]

イ 伊保内高校 P R 映像「みんなかだって」制作・配信 ◆のべ 1,600 人視聴

ウ 伊保内高校 P R パンフレット作成・配付 ◆1,000 部作成・配付

###### ③ 専門家を招いたドローン操作体験会

9 月 14 日開催 ◆体験 8 人参加

##### (3) 通学支援事業

バス定期購入費の助成（1/2 助成） ◆助成対象者 3 人

##### (4) 進学等支援事業

###### ① (学)龍澤学館と連携した進学支援

ア 盛岡公務員専門学校による出前講習会及び盛岡校でのフォローアップ講習会  
◆ 8 人参加

イ 龍澤学館が経営する専門学校へのバスツアー

(5 校：盛ジョビ、盛カレ、公務員専門、ペット専門、看護専門)

◆40 人参加 ※生徒のフォローアップ講習会参加交通費は高校が負担

###### ② 公営塾開催

各地で公営塾の開催展開している株式会社プランニングドアーズ（仙台市）に委託し、伊保内高校生向けの公営塾を開催

◆オンライン講座のべ 70 回・対面講座のべ 18 コマ

##### (5) 県外入学者受入事業

内閣府及び（一財）地域教育魅力化プラットフォームが主催する「地域みらい留学 2022」に参加し、オンラインでの学校説明会を実施するとともに、県外からの高校見学会を開催

◆オンライン説明会 8 回実施・県外からの見学者 3 名（うち 2 名入学）

(6) その他

① 要望活動

8月1日(月)九戸村HOZホールで開催した県への市町村統一要望において、高校の存続要件緩和と新しい高校の在り方を提言

② 広報活動

ア 高校生生活動状況等をマスコミに随時公表し取材を依頼

イ「広報くのへ」への高校関連記事掲載 ◆12回掲載(毎月掲載)

③ 村内外の中学校説明会

九戸中、福岡中、金田一中、一戸中で開催

④ 各種助成等

就職、進学指導、部活動補助 3,350千円

入学時制服購入補助、ほか 4,000千円

体育施設使用料免除、育英奨学金償還特例措置

通学補助を総務企画課所管予算から支援

給食費無償化

医療費補助

■成果と課題

九戸中学校から伊保内高校への進学率は、令和元年度 45.3%、2年度 31.3%、3年度 36.4%と低迷している。

生徒と保護者の地元高校への進学意識を高めるため独自性のある魅力化を図り、中高の連続した学力向上対策をはじめ、進学・就職支援等、村長部局、伊保内高校教育振興会ほか関係機関団体との協力を一層深め、有効的な施策を打ち出していく。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

**【事務及び事業等の名称】** (1) 学校教育行政の主要施策  
⑫ 就学奨励費

**【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】**

**■事業の概要**

心身や経済的な理由により就学困難な児童生徒に対し、小中学校での就学に必要な支援を行う。

**■実施状況**

要保護・準要保護就学援助費（小学校） ・学用品費 ・通学用品費 ・校外活動費 ・修学旅行費・学校給食費・医療費 ・新入学児童学用品費・体育実技用具費 ・児童会費 ・PTA会費	のべ 180人	1,358,610円
要保護・準要保護就学援助費（中学校） ・学用品費 ・通学用品費 ・校外活動費 ・修学旅行費・学校給食費・医療費 ・新入学生徒学用品費・クラブ活動費 ・生徒会費 ・PTA会費	のべ 128人	2,020,596円
特別支援教育就学奨励費（小学校） ・学用品、通学用品購入費 ・校外活動費 ・修学旅行費・学校給食費 ・新入学児童生徒用品費 ・体育実技用具費・交通費・拡大教材費	のべ 1人	10,790円
ことばの教室通級助成	のべ 0人	0円

**■成果と課題**

- ・児童生徒の学習、クラブ活動等が円滑に行われ、学校生活が充実するよう配慮している。援助費目の拡大等により今後もさらに予算の増額が予想されるが、経済的な理由により、学習に支障きたすことのないように、制度の周知に努め、当該生徒の保護者と十分連絡を取りながら事務手続きを進めていきたい。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

### 【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策

#### ⑬ 教育環境の整備 施設設備の充実

### 【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

#### ■事業の概要

学校教育関係施設・設備の整備充実と管理の適正化に努め、学校教育の充実を図る。

#### ■実施状況

##### 1 小学校—施設設備・備品関係

・長興寺小学校駐車場破損箇所修繕	1 1 3, 5 2 0円
・江刺家小学校理科準備室天井修繕	1 5 2, 0 2 7円
・長興寺小学校漏水修理	1 6 5, 0 0 0円
・江刺家小学校体育館扉修繕	1 7 6, 4 3 6円
・戸田小学校保健室灯油漏れ天井修繕	2 7 5, 0 0 0円
・旧宇堂口小学校側溝修繕工事	1 1 5, 9 0 0円
・村立江刺家小学校プール塩素滅菌機交換修繕工事	1 5 2, 9 0 0円
・児童用椅子・机購入	2, 1 7 8, 0 0 0円
・FFストーブ購入	7 7 3, 0 0 0円
・加湿空気清浄機購入	1, 3 9 5, 0 0 0円
・A I体温検知カメラ	2, 9 3 7, 0 0 0円
・電子黒板一式購入	9, 5 6 4, 3 5 3円
・校務用パソコン購入	3 7, 1 8 9, 1 6 7円
・一般備品 (折りたたみテーブル等)	7 3 6, 3 7 3円
・教材備品 (鉦太鼓等)	2, 0 5 0, 7 6 3円
・図書備品	1, 2 2 8, 3 5 4円

##### 2 中学校—施設設備・備品関係

・九戸中学校水道管保温材破損修繕	4 2 9, 6 6 0円
・遠赤外線ヒーター購入	2 6 4, 0 0 0円
・加湿空気清浄機購入	3 1 0, 0 0 0円
・A I体温検知カメラ	5 8 7, 4 0 0円
・電子黒板一式購入	3, 6 0 9, 6 8 7円
・校務用パソコン購入	7, 4 3 7, 8 3 3円
・一般備品 (給食配膳台等)	6 4 8, 3 4 0円
・教材備品 (人体解剖模型等)	3 8 3, 4 0 2円
・図書備品	3 0 8, 2 8 7円

#### ■成果と課題

- ・新型コロナウイルス感染症対策として加湿空気清浄機やA I体温検知カメラの配備を行った。また、GIGA スクール構想実現に向けて電子黒板、校務用パソコン等 ICT 環境の整備を行った。
- ・学校施設は老朽化等問題が多いが今後の学校統廃合・再編を考慮しながら、施設・設備の整備充実と管理の適正化に努め、学校教育の充実を図りたい。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策  
⑭ 望ましい教育環境の整備

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

### 1. ナインズミーティング2（教育懇談会）の実施

#### ■概要

本村の児童生徒数の将来推計や教育環境の実態について、広く村民に情報提供を行うとともに、持続可能で良質な教育環境の構築に向けて保護者をはじめ村民の率直な意見を聞くため、「ナインズミーティング2」を実施した。

#### ■実施状況

##### (1) 保護者対象

日 時	場 所 ( 対象者 )	参加者数
令和3年4月17日(土)	山根小学校(山根小学校保護者)	9名
令和3年4月26日(月)	九戸村公民館(保育園保護者)	8名
令和3年6月11日(金)	戸田保育園(戸田保育園保護者)	10名
令和3年6月14日(月)	ひめほたるこども園(ひめほたるこども園保護者)	20名
令和3年6月15日(火)	長興寺小学校(長興寺小学校保護者)	10名
令和3年6月18日(金)	伊保内保育園(伊保内保育園保護者)	2名
令和3年6月24日(木)	伊保内小学校(伊保内小学校保護者)	59名
令和3年7月3日(土)	江刺家小学校(江刺家小学校保護者)	29名
令和3年7月13日(火)	戸田小学校(戸田小学校保護者)	12名

##### (2) 行政連絡員・老人クラブ・婦人会対象

日 時	場所(対象者)	参加者数
令和3年10月19日 (火)	九戸村老人福祉センター(戸田地区)	14名
令和3年10月20日 (水)	九戸村公民館(伊保内地区)	18名
令和3年10月21日 (木)	江刺家ふるさとセンター(江刺家地区)	10名

### 2. 九戸村の学校教育環境の将来を考えるシンポジウムの開催

#### ■概要

少子化が進む本村において「持続可能で良質な教育環境」を構築するため、学校教育に関する有識者を招聘し、極小規模校を有する自治体における望ましい教育環境のあり方について、全国的な傾向や事例あるいは小中一貫教育など、少子化に対応した学校教育の在り方について理解を深めることを目的にシンポジウムを開催した。

シンポジウム終了後、参加者にアンケート調査を実施した。(回収率92.9%)

#### ■実施状況

- (1) 日 時 令和3年11月21日(日)
- (2) 場 所 九戸村公民館(HOZホール)
- (3) 参加者 52名
- (4) 内 容

##### 第一部 基調講演

- ①「市町村による様々な小規模校対策の状況について」

青森中央学院大学 経営法学部名誉教授 高橋 興 氏

- ②「少子化が進行する地域の学校教育の現状について」

和光大学 現代人間学部心理教育学科教授 山本 由美 氏

##### 第二部 パネルディスカッション

「少子化が進む中山間地域における『持続可能で良質な教育環境』はどうあればよいか～九戸村の次世代を担う児童生徒のために～」

- ・コーディネーター 教育長 岩淵 信義
- ・パネリスト 高橋 興 氏 ・山本 由美 氏

### 3. 持続可能で良質な教育環境の整備に関する村民アンケートの実施

#### ■概要

九戸村の将来の学校教育の在り方について、中学生以上の村民全員を対象にアンケート調査を行い、その結果報告書を作成し全戸に配布した。

#### ■実施状況

- (1) 配布枚数 5,081枚
- (2) 回答数 3,324枚
- (3) 回収率 65.4%

#### ■成果と課題

ナインズミーティング2、シンポジウムを実施し必要な情報提供を行ったうえで、村民アンケートで意見を集約した。その結果を基に「持続可能で良質な教育環境整備の指針」を作成し、将来の本村学校教育の在り方について合意形成を図る。